

【第2弾】歯科衛生士に対する新型コロナウイルスに関するアンケート調査 結果報告

第1弾として4/28～5/3の期間にアンケート調査を実施し、その結果を受けて【歯科衛生士が行う新型コロナウイルスへの7つの対策】を作成し周知に努めている。(本会ホームページに掲載中)、

COVID-19が終息の目途はたっていない現在、歯科衛生士がどのような状況下で業務に従事しているかを把握するため、7月31日から8月14日にかけて再度アンケート調査を実施した。

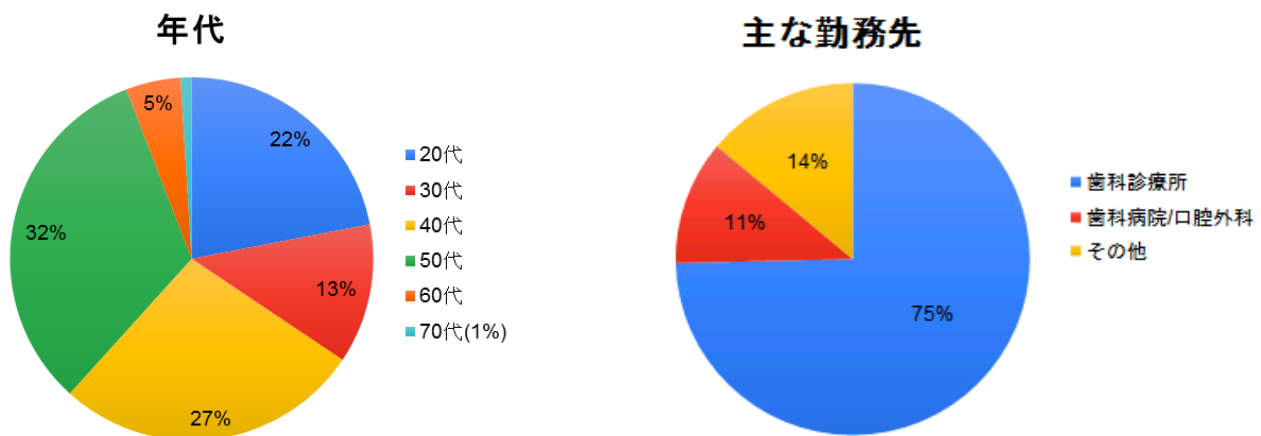
【アンケート実施期間】 7/31～8/14

【アンケート数】 410名(東京都歯科衛生士会員・会員外、他府県歯科衛生士会員・会員外含む)

【アンケート実施方法】 Googleフォームを活用し、メールにてURL・QRコードを配信し回答を得た

また、本会会報誌7月号にもアンケート依頼に関する記事を掲載した

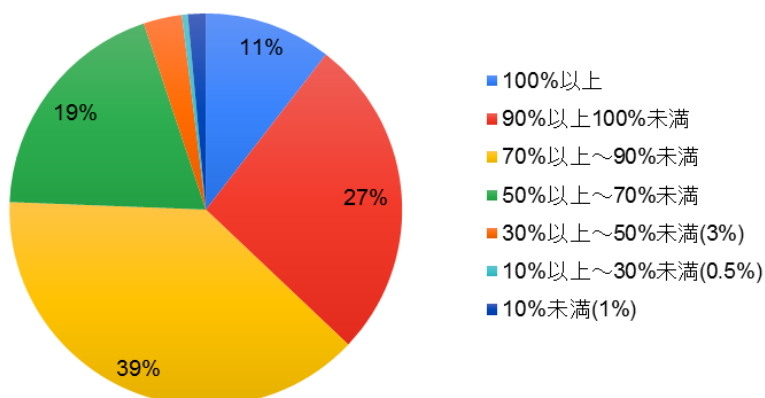
【回答者の年代と主な勤務先】



主な勤務先の「その他」は、介護老人福祉施設や歯科を標榜していない病院、行政などであった。

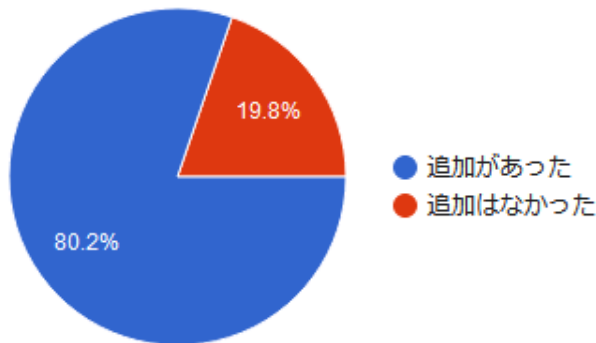
【主な勤務先における受診者数】

* 昨年度の同時期と比較した、7月末時点での受診者数の割合



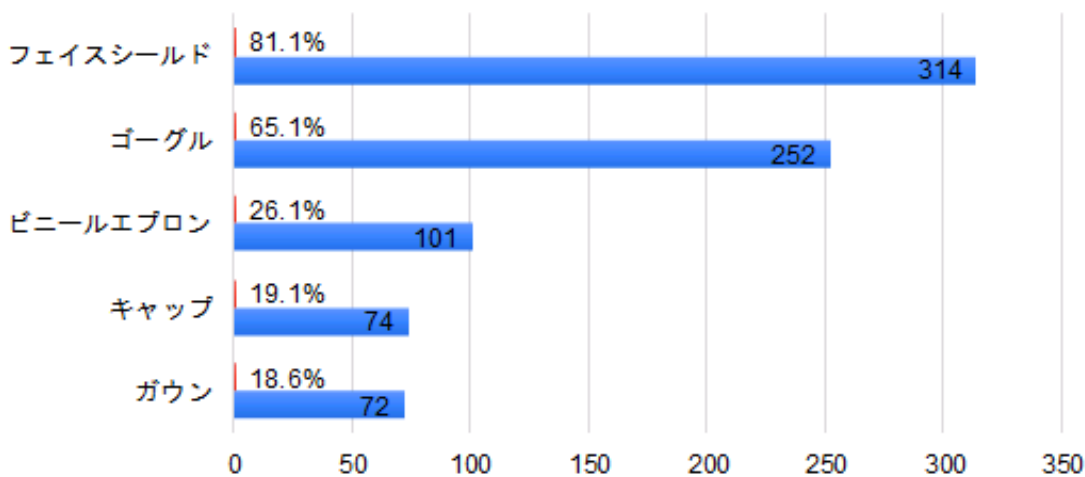
【勤務先における COVID-19 感染予防対策】

●緊急事態宣言（4/16）前に比べて、緊急事態宣言後に追加した感染予防策がありましたか？



●主な勤務先における個人防護衣の使用状況（回答 387 人、複数回答可）

（緊急事態宣言（4月6日）後に使用し始めて、現在（7月末時点）も継続して使用している物）



●主な勤務先で取り組んでいる感染予防対策（回答 408 人、複数回答可）

（緊急事態宣言（4月6日）後に取り組み始め、7月末時点も継続して取り組んでいること）

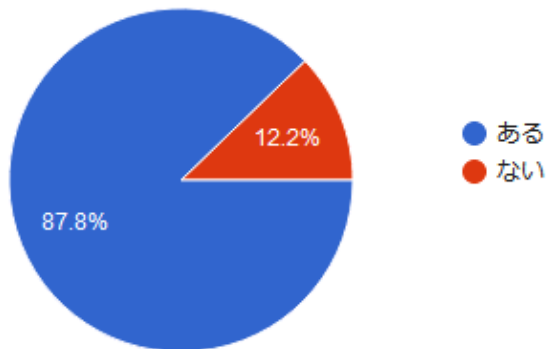
主な勤務先で取り組んでいる感染予防対策	回答数	%
待合室の管理	344	84.3%
患者への来院時のスクリーニング	272	66.7%
受付周辺の管理	264	64.7%
自分自身の出勤前の検温（自宅）	243	59.6%
自分自身の出勤前の検温（勤務先）	160	39.2%
延期しても問題のない治療の延期	129	31.6%
訪問診療の延期	105	25.7%
院内で2mの距離がとれるような工夫	104	25.5%
診療・治療前の洗口（患者）	94	23.0%
診療時間の短縮	61	15.0%
院内の十分な換気	55	13.5%

・「待合室の管理」では、椅子などの清拭・人数制限・閲覧用書籍や子供用おもちゃなどの撤去。

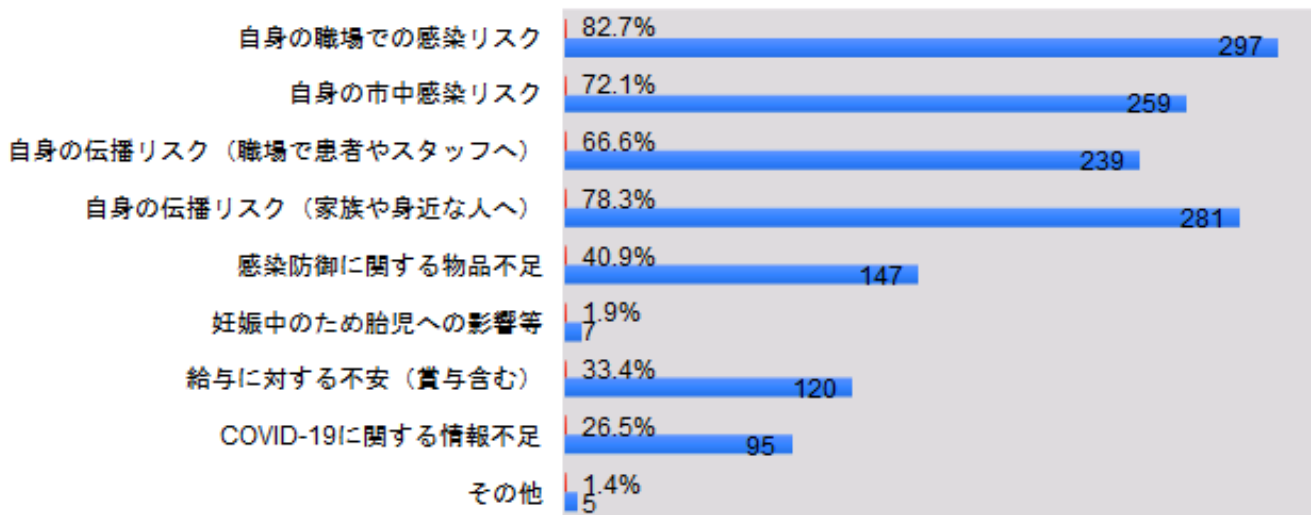
・「患者への来院時のスクリーニング」の項目は、問診や検温であった。

【不安に思うこと】

●今、不安に思っていることはありますか？



●不安に思うこと



【その他自由記載より】

スタッフ間での感染対策に対する感覚の温度差や立場の違いによる考え方の相違、それによる人間関係の悪化、個人防護衣や感染予防物品の品薄や高騰による入手の困難さなども挙げられており、それらの対応に関するガイドラインなどが要望されていた。また、情報過多で判断が難しい、問診だけでは無症状の陽性者の来院を防げなかった、不安を煽る報道や感染者への誹謗中傷は辞めて欲しい、などという意見も聞かれた。